

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要		事業開始年度		平成17年度		根拠法令・例規等	三石財産区管理会条例 三石財産区基金条例
総合計画	大項目	基本目標	06	健全で自立したまちづくり			
	中項目	基本施策	01	簡素で効率的な行政運営			
	小項目	施策	12	その他事務管理(財産管理)			
事務事業名		06	三石財産区管理事業		問合せ先	担当課(室)	財政課
					職・氏名	係長 芳田 猛	
					電話	0869-64-1811	
					このシート作成に要した時間		2.5 時間

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	三石財産区の保有財産及び区域内の住民
目的(何のために)	三石財産区の保有財産の適正な管理・運用
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	三石財産区の良い運営

事業の実績		事業の説明		優先度
目的を達成するために実施した事業	細事業名	管理会運営業務	三石財産区管理事業特別会計予算の適正な執行のため、管理会を5回開催し審議・決定した。また、管理会のスキルアップのため、先進地視察を実施した。	○
		財産維持管理業務	三石財産区の保有土地の維持管理のため、草刈作業を実施するとともに、保有土地の現地視察を実施した。	○
		財産区基金管理業務	基金の有利な運用を図った。	△

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
事業費	直接事業費	千円	1,668	1,451	1,469
	必要人員人件費	千円	0.10人	0.05人	0.10人
	事業費計	千円	2,650	1,830	2,313
決算額	国県支出金	千円			
	受益者負担	千円	3,736	3,551	3,380
	繰入金	千円			
	その他()	千円	-1,086	-1,721	-1,067
	一般財源				
	受益者負担比率	%	141.0%	194.0%	146.1%
結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
結果指標	草刈延人数	説明	財産区の土地維持管理に係る年間の草刈作業に要した人数		
	結果指標値	事業	119	133	135
	対前年比	%	-	111.8%	101.5%
	活動コスト	円	738,000	909,000	830,000
	単位当たりコスト	円	6,202	6,835	6,148

事業の成果		年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
維持管理適正運営	成果指標名	目標値(A)	2,000	2,000	2,000	2,000
		実績値(B)	1,892	2,069	1,865	到達目標値
		達成率(B/A)	94.60%	103.45%	93.25%	毎年度
成果指標設定の考え方・式や説明						
財産区の財産維持管理は、歳入の範囲内での運営に努めるべきであるため。(歳入-歳出>2,000(単位千円))						

事務事業の評価		市が実施するよう法令で義務づけられている 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である 事業開始当初の目的から変化してきている 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 <A~E>
妥当性の評価	市の関与の妥当性		B
	必要性		
効率性の評価	市民ニーズ	C	
	コスト		
有効性の評価	目的達成度	B	
	市民参画度		

進行年度(H22年度)の改革改善内容		状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	財産区の区域内の住民からの要望・要請により草刈作業内容を見直し、財産区保有土地の環境美化・保全を図る。			○					

総合評価		評価区分 <A~E>	B	
財産区の区域内の住民からの要望・要請に対応しながら、適正な管理・運営も図られている。				

平成23年度の方向性及び取組目標		方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	貸付収入が減少している状況であり、駐車場の利用促進を図りながら財源確保を行い、財産の適正な管理・運営を行う。			○					

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

留意事項
留意する目的がその数値目標であること、成果指標に